

【がん情報提供講演会 開催一覧】

年度		離島訪問一覧	開催日時	備考
2015年度 (H27年度)	①	西表島(竹富町)	H28.3.18	がん療養場所ガイドブック活用説明会
	②	座間味島(座間味村)	H28.3.22	がん療養場所ガイドブック活用説明会
2016年度 (H28年度)	③	与那国島(与那国町)	H28.7.15	がん療養場所ガイドブック活用説明会 in 与那国島
	④	久米島(久米島町)	H28.9.16	もしも島でがんになったら
	⑤	伊平屋島(伊平屋村)	H28.9.30	もしも島でがんになったら
	⑥	北大東島(北大東村)	H28.12.9	もしも島でがんになったら
	⑦	南大東島(南大東村)	H28.12.10	もしも島でがんになったら
	⑧-1	石垣島(石垣市)	H29.1.21	もしも島でがんになったら 図書館でまるごと一日「がん」のこと
2017年度 (H29年度)	⑨	宮古島(宮古島市)	H29.9.9	がん専門医に学ぶ 医師とのコミュニケーション
		那覇市	H29.11.19	がんで後悔しないためのヘルスリテラシーってなんだ？
2018年度 (H30年度)	⑩	国頭村	H30.7.27	もしも国頭村でがんになったら
	⑪	伊江村	H30.9.13	もしも伊江島でがんになったら
	⑫	小浜島(竹富町)	H30.10.5	もしも小浜島でがんになったら
	⑧-2	石垣市	H30.10.6	がん相談できる島づくりがんピアキャラバン
	⑭	伊是名村	H30.11.2	もしも伊是名村でがんになったら
	⑮	多良間村	H30.11.30	もしも多良間村でがんになったら
	⑯	鳩間島(竹富町)	H31.2.22	もしも鳩間島でがんになったら

普及啓発活動をパッケージで行った 離島・へき地市町村



琉球大学医学部附属病院がんセンター
平成30年度がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも鳩間島でがんになったら」 に関する報告書

2019年2月22日

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会および相談会を鳩間島（竹富町）で実施した。

島には保健センターや診療所もなく、西表西部診療所の月一回の定期巡回検診のみである。通常この講演会では、島で身近な診療所の医師と共働してあっているが、八重山病院での代診も難しい状況ということで、前もって現状を伺い、診療所のない島でどのようにすればよいかの情報提供と相談を行う形とした。

当日は開催協力頂いた鳩間小中学校で住民の現状を伺った。また、終了後は、協力頂いた竹富町役場健康づくり課担当者・鳩間小中学校・鳩間公民館関係者らと鳩間島におけるがん医療の在り方などについて意見交換をした。

■鳩間島（竹富町）におけるがん医療の現状についての意見聴取 （鳩間小中学校）

日 時：平成31年2月22日（金）9：10～9：50

場 所：鳩間小中学校 校長室

出席者：鳩間小中学校 校長室 比嘉 豊樹 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも鳩間島でがんになったら」

日 時：平成31年2月22日（金）19：40～21：20

場 所：鳩間島コミュニティセンター

参加人数：8人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 9 n鳩間島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

(2) 質疑応答

(3) 役場担当者挨拶 竹富町役場健康づくり課 係長 古見 用介 様

■個別相談

日 時：平成31年2月22日（金）講演会終了後

場 所：鳩間島コミュニティセンター 会議室

相談者：なし

（講演会での質疑応答が活発にあり個別にこだわる方はいなかった）

■参加者による意見交換会

日 時：平成31年2月22日（金）講演会終了後

場 所：鳩間島コミュニティセンター

参加者：8人（役場担当者・学校関係者・公民館関係者・琉大）

国民の2人に1人はがんになる時代です。

いざというとき、自分の納得いくかたちで病
気と向きあうために、がん治療の現状も交え
ながらお話しします。

もしもに備えて考えてみませんか？

どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも 鳩間島で がんになったら

—がんサポートハンドブック・
—がん療養場所ガイドブック
活用説明会in鳩間島—

鳩間島（竹富町）のみなさまへ

がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
鳩間島で開催します。毎月1回の訪問診療し
かない島でどんな治療ができるのか、がん情
報さがしのコツを、専門家の立場からお話し
します。

がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は“力”となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

（講演）

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人

・医師のいない島でがんになったら！

がん情報のさがし方勉強会 in 鳩間島



琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日 時：2月22日（金）午後7時半～8時半（午後7時開場）

場 所：鳩間島コミュニティセンター

対 象：竹富町にお住まいのみなさん

参加費：無料

主 催：琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

☎ 098-895-3331（内線4358）

■ 広報手段
ポスター
チラシ
行政無線

：役場・港・島内掲示板へ掲示
：鳩間島全世帯へ配布（約30世帯）、竹富町役場内での配布
：開催前に島内放送

がん情報のさがし方勉強会 in 鳩間島

「おきなわがんサポートハンドブック」 「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター

増田 昌人

インフォームド・コンセント セカンド・オピニオン

- 医療行為を受ける前に、医師および看護師から医療行為について、わかりやすく十分な説明を受け、それに対して患者さんは疑問があれば解消し、内容について十分納得した上で、その医療行為に同意すること
- すべての医療行為について必要な手続き
- もともとは米国で生まれた言葉で、「十分な説明と同意」と訳される場合もある
- 沖縄県では、説明・納得・同意・希望のプロセスと定義づけている

- 診断や治療方法について、担当医以外の医師の意見を聞くこと
- 別の医師の意見を聞くことで、患者さんがより納得のいく治療を選択することを目指す
- セカンドオピニオンを聞いた後は、その意見を参考に担当医と再度、治療法について話し合うことが大切

2019/2/22

がん情報のさがし方勉強会in鳩間島

23

がん情報さがしの10カ条

- 1 情報は“力”，あなたの療養を左右することがあります。活用しましょう
- 2 あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう
- 3 あなたの情報を一番多く持っているのは主治医です。よく話してみましょう
- 4 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましょう
- 5 医師以外の医療スタッフ（看護師，ソーシャルワーカー，薬剤師，栄養士等）にも相談してみましょう
- 6 がん診療連携拠点病院の相談支援センターなど，質問できる窓口を利用しましょう
- 7 インターネットを活用しましょう
- 8 手に入れた情報が本当に正しいかどうか，考えてみましょう
- 9 健康食品や補完代替医療は，利用する前によく考えましょう
- 10 得られた情報をもとに行動する前に，周囲の意見を聞きましょう

（国立がん研究センターがん対策情報センターより）

2019/2/22

がん情報のさがし方勉強会in鳩間島

24

「おきなわがんサポートハンドブック」ダウンロード方法



2019/2/22

がん情報のさがし方勉強会in鳩間島

25

最後に

1. 万が一の時に備えて，
(1)再発した場合のこと
(2)治療が難しくなった場合のこと
(3)最期を迎える場所（自宅 or 宮古の病院 or 本島の病院）を，家族や大切な人と相談しておく
2. 相談して決めたことを，紙に書いて，日付と署名と印鑑を押しておく

＊がんになってもならなくても，普段から自分自身がどのような医療を望むのか，人生の最期までのように迎えたいのかを考えておくこと，その考えを家族や大切な人に伝えたり，相談したり，理解を得ておくこと，その結果を文書に残しておくことは，とても大切なことだと思います

（与アドバンスケア・プランニング）

2019/2/22

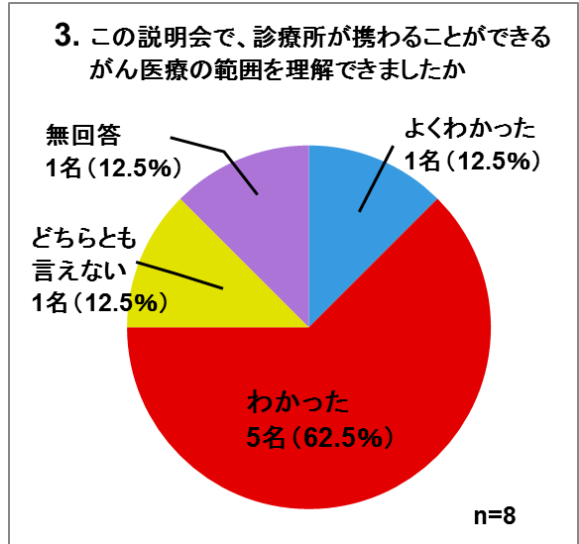
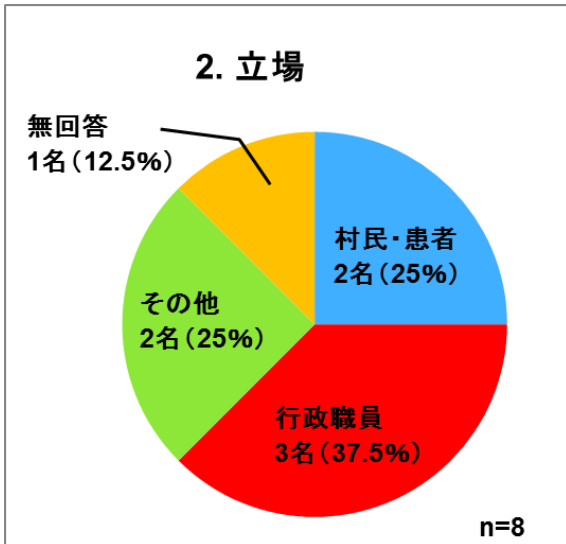
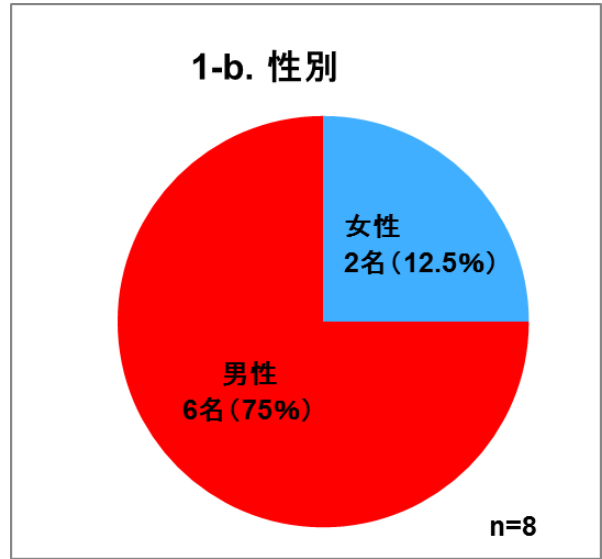
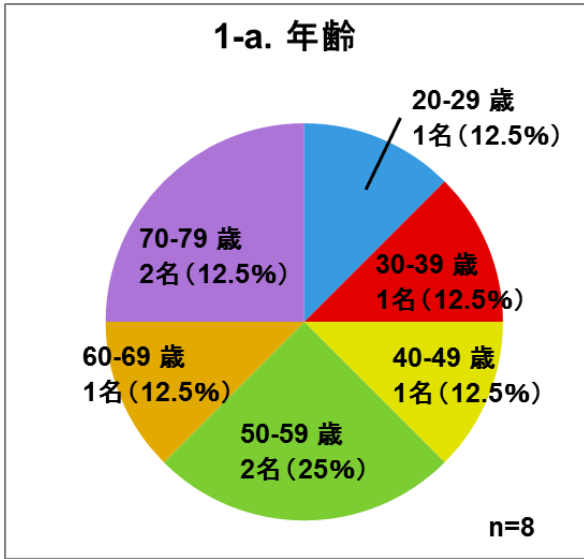
がん情報のさがし方勉強会in鳩間島

27

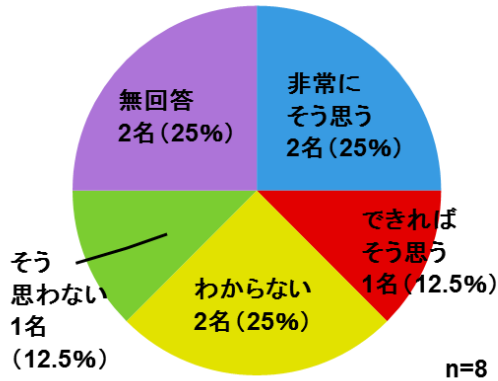


アンケート結果 1

参加者8人 アンケート回収8人 アンケート回答率100%



4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

すでに家族で話し合い過剰な延命治療は行いたくない旨を確認している為

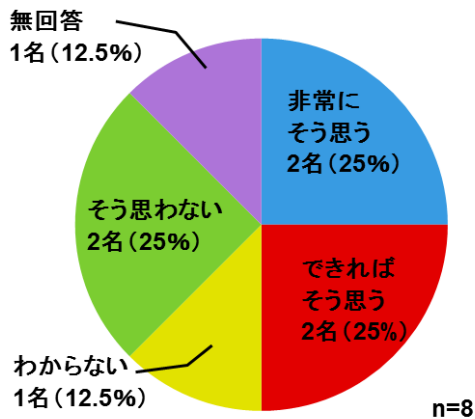
急変などに対応できるか心配

がんだけではなく、病気等でやるべき治療をし、本人の最期をしっかりと看取り、絆や生と死をしっかりと感じたい。家族としてもしっかりと受け止めることは大事だと思う。

独居

自宅で看取る余裕がない

6. ご自身が、もしがんなどで最期を迎えるとき自宅で迎えたいですか



7. 6の理由を教えてください。

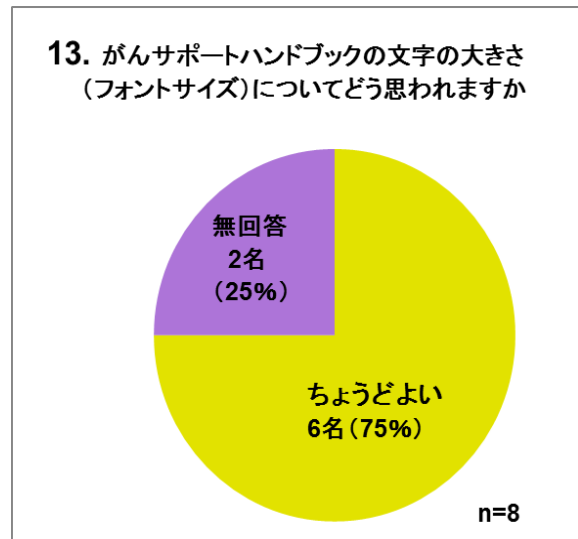
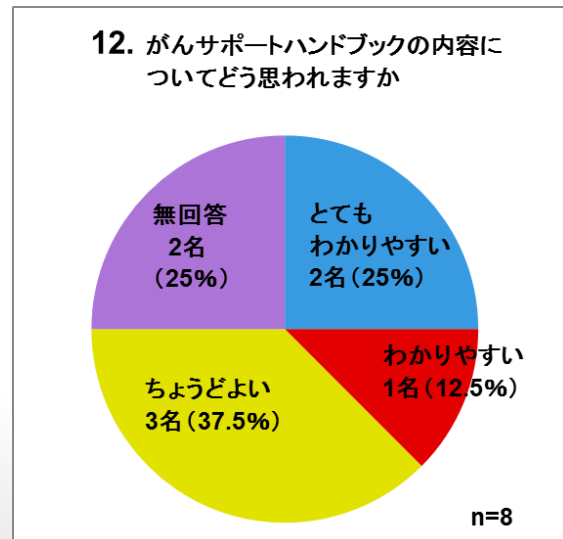
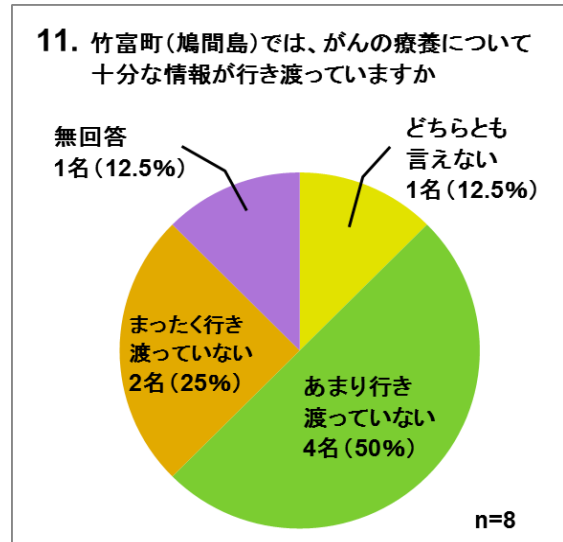
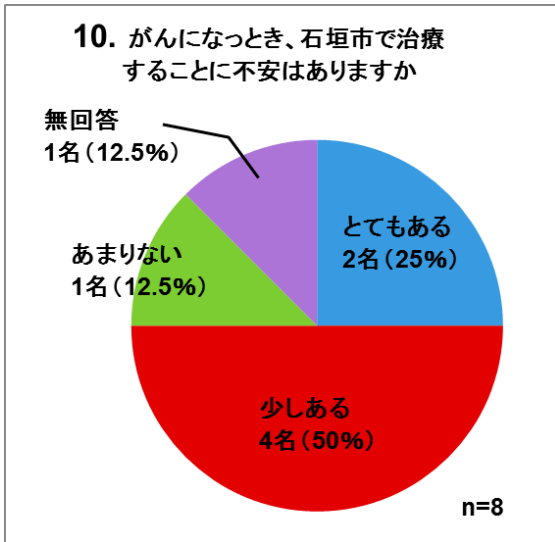
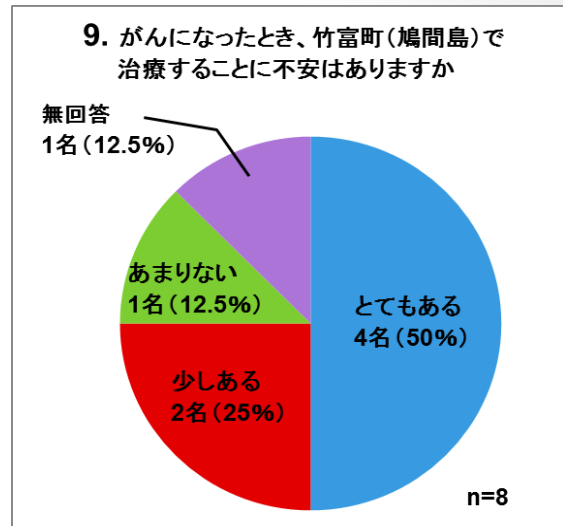
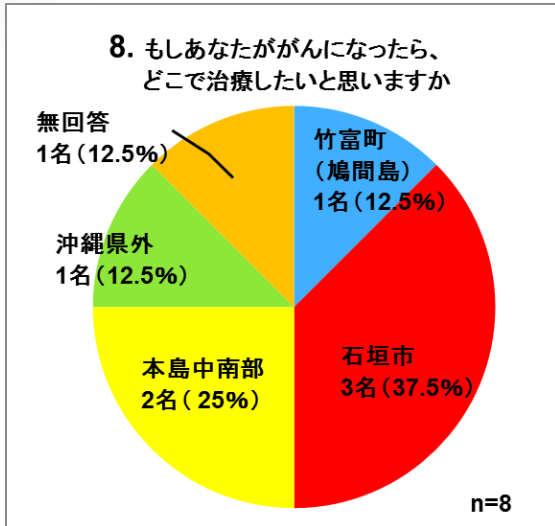
残される家族に、可能な限り経済的負担をかけたくない為

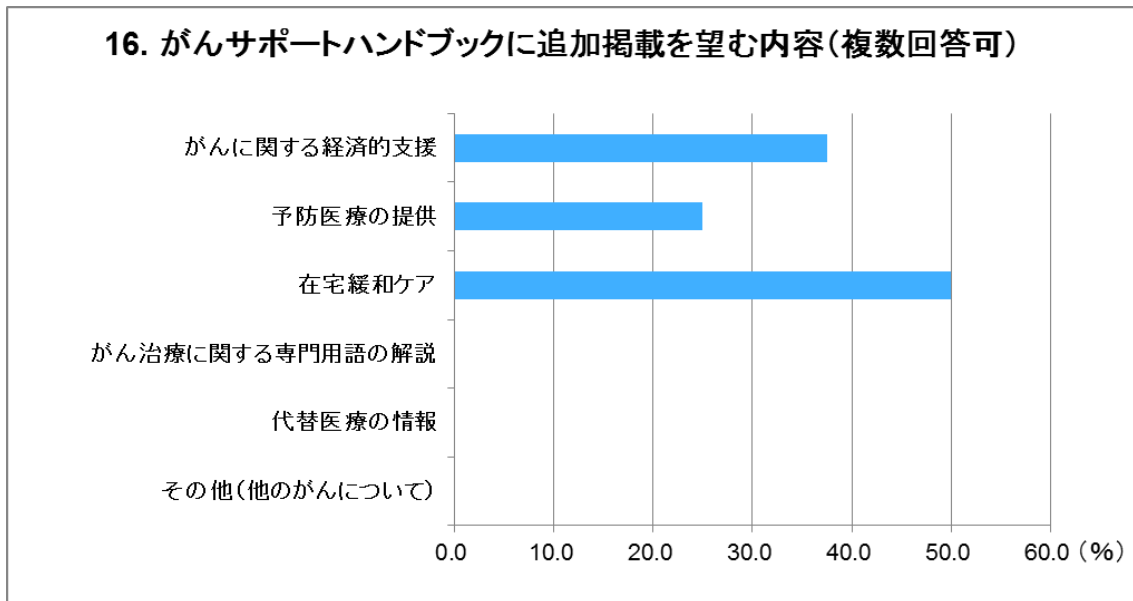
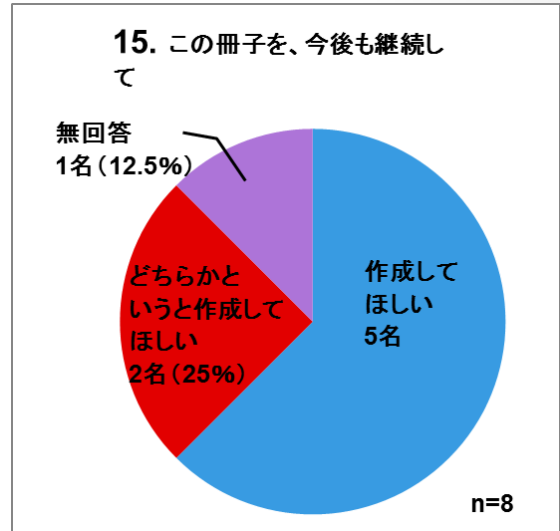
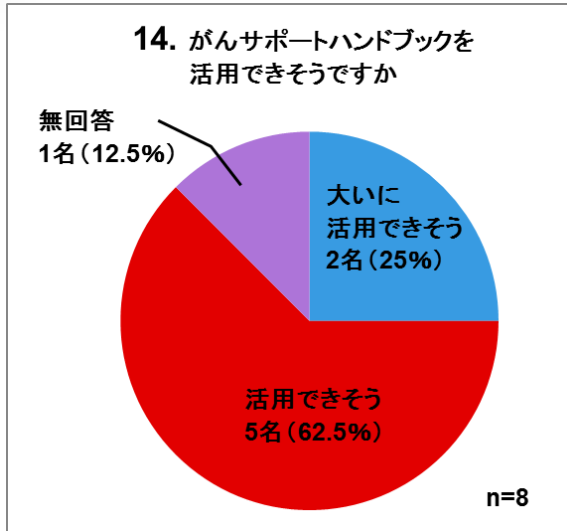
迷惑にならない程度で

家族とゆっくりできそう。でもあまり迷惑をかけたくない。

独居

なるべく身内に迷惑をかけたくない





17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

とてもよい取り組みだと思います。ぜひどんどん周知してほしいと思います。ありがとうございます。やはり終わり方を家族と話し合うことが大事ですね。

ニュースでテレビにでる方がガンになっているときいて20代ながら不安に参加しました。知っているようで、知らないことが多く大変勉強になりました。

鳩間島小中学校



講演会場：鳩間島コミュニティセンター



相談室：会議室
(巡回診療時
に使用)



緊急輸送用
ヘリポート



■ がん情報及び地域がん医療説明会

もしも鳩間島でがんになったら

講演：「がん情報のさがし方勉強会in鳩間島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



会場の様子

質疑応答



挨拶：竹富町役場
健康づくり課
古見 用介係長



3 事業実績書

都道府県名 沖縄県

事業名	がん医療連携体制推進事業	事業区分	⑥がん情報の提供に資する事業
支出額	8,500,000 円		
事業実施予定期間	平成30年4月2日 ～ 平成31年3月31日		
事業内容	<p>(1) がん情報提供体制の強化 がん患者やその家族等、情報取得者の視点を踏まえ、適切な情報選定及び有効な情報提供に関する取り組みや、地域のがん患者等の活動を支援する取り組みを実施した。</p> <p>①がん情報および地域がん情報講演会 開催 離島・へき地を中心としたがん情報の勉強会とがん診療についての講演会および相談会を各地で6回開催した。 その際、市町村長や保健医療担当者と面会し、地域におけるがん検診の呼びかけや渡航費助成等について意見を交換した。また各診療所にも出向き、離島・へき地で対応可能ながん治療や看取り医療の実施状況等について所長にヒアリングを行い、今後の在り方等について意見交換を行った。講演後には、個別相談も実施した。</p> <p>イベント名:もしも国頭村でがんになったら 講師 :諫山 義人(国頭村立国頭診療所 所長) 増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長) 日時 :平成30年7月27日(金)19時～20時半 場所 :国頭村立保健センター 内容 :講演会と相談会 参加数 :聴講44人 相談6組</p> <p>イベント名:もしも伊江村でがんになったら 講師 :阿部 好弘(伊江村立診療所 所長) 増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長) 日時 :平成30年9月13日(木)19時半～21時 場所 :伊江村農村環境改善センター 内容 :講演会と相談会 参加数 :聴講152人 相談4組</p> <p>イベント名:もしも小浜島(竹富町)でがんになったら 講師 :山田 拓(沖縄県立八重山病院附属 小浜診療所 所長) 増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長) 日時 :平成30年10月5日(金)19時～20時半 場所 :小浜公民館 内容 :講演会と相談会 参加数 :聴講33人 相談3組</p> <p>イベント名:がん情報ののさがし方とアピアランスケア(がんピアキャラバンでの講演) 講師 :増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長) 日時 :平成30年10月6日(土)13時～13時半 場所 :石垣市立図書館 内容 :講演会と相談会 参加数 :聴講26人 相談1組</p> <p>イベント名:もしも伊是名村でがんになったら 講師 :平山 恭平(沖縄県立北部病院附属 伊是名診療所 所長) 増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長) 日時 :平成30年11月2日(金)19時～20時半 場所 :伊是名村産業支援センター 内容 :講演会と相談会 参加数 :聴講40人 相談2組</p>		

イベント名:もしも多良間村でがんになったら
講師 :杉山 佳史(沖縄県立宮古病院附属 多良間診療所 所長)
増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長)
日時 :平成30年11月30日(金)19時~20時半
場所 :塩川集落センター
内容 :講演会と相談会
参加数 :聴講41人 相談0組

イベント名:もしも鳩間島でがんになったら
講師 :増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長)
日時 :平成31年2月22日(金)19時40分~21時20分
場所 :鳩間島コミュニティセンター
内容 :講演会と相談会
参加数 :8人 相談5組

②医療機関などへの説明会を開催。

がんサポートハンドブックを医療者側から、がん患者およびその家族へ渡して説明することやピアサポーター等に相談先をつなげることも大切だと推奨。

場所 :ハートライフ病院 2階講堂
日時 :平成30年11月21日(水)17時半~18時半
講師 :増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長)
内容 :がん対策推進委員会・化学療法委員会主催 院内イベント
「治療と仕事の両立支援セミナーとピアサポートの紹介」にて講師として
登壇の際、おきなわがんサポートハンドブックの活用について講話
参加数 :約50人(関係者含む)

※他にも調整依頼は実施したが、開催には至らなかった。
病院側の意識改善も今後の課題と思われる。

(2)がん情報提供資料の作成等

<2019年版概要>

書名 :地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」2019年版
配布対象者:がん患者さんおよびそのご家族
部数 :25,000部
原稿ページ:110ページ(本編104ページ、綴り込み6ページ、表紙周り4ページをのぞく)
配布先 :昨年度配布先133ヶ所は印刷業者より発送予定
(拠点病院、、がん診療を行う病院、患者会、市町村等)
※がん登録指定診療所73ヶ所と離島へき地診療所24ヶ所を新たに
配布先へ追加

<2018年版からの主な変更点>

《早いタイミングで知っていてほしいことを巻頭で案内》

・前年度概要版として作成した巻頭綴り込みは、告知後に知ってほしい情報がまとめられており好評であったが、内巻で後から気付いたという声に、今年度は外開きで切込みなしとした。
・様々な情報があふれる昨今、信頼できる本とインターネット情報の入手先として、表紙見開きに案内を掲載。

《治療開始前に役立つ情報を掲載》

・医療機関一覧をがん種毎の診療施設に細分化して掲載。診療に直結する情報で、適切な病院にたどり着くことを後押し。
・セカンドオピニオンを取って、納得して治療を受けることを勧める。
・【免疫療法】【ゲノム医療】など最新治療の現状を掲載。医師が説明とともに患者へ手渡すことを促進。
・治療開始前の情報として『妊娠の可能性を残す(妊孕性温存)』について卵巣凍結保存を追記。

《対面相談につなげるツールを意識》

・がん相談支援センターを【第1部】(1)へ昨年移動したのに続き、がんピアサポーターを【第2部】(1)へ移動追記し、相談窓口の存在をアピール。医療面だけでなく、精神的・社会的なサポート口があることも紹介。

《自分らしい生き方をするための自主性の推奨》

・今後の治療や療養について、あらかじめ家族や医療者と話し合い、自分の意思・価値観の情報を共有しておくことで、その人らしい生き方を実現することを目標とする【アドバンス・ケア・プランニング】を新規掲載。
・読者に向けて、自分からも医療者と積極的にコミュニケーションをとることを提案。また、項目名も受け身ではなく、自分からも向き合おうという意味を込めて「～したい」という表現を出来るだけ「～する」へ変更。

《生活者としての患者に役立つ情報の充実》

・がん治療は、長く向き合っている現状であることから、【医療費の負担を減らしたい】、【治療を続けながら働く】、【自分らしく毎日を過ごす】など、生活に役立つ情報を掲載。

《使いやすく編集》

・治療の過程を図表(ライフコース)でわかりやすく説明。
・探したい情報が目に留まりやすいように、項目名を横付箋へ変更。

ア 資材の内容検討

がん相談員、医療従事者、がん患者等関係者等から意見を聞きながら、資材の内容を検討し、関係機関へ時点修正の依頼を行った上で改定した。

○内容検討に関する主な取り組み

- 4月 ・編集方針と編集作業部会の運用に関する意見交換
- 5月 ・編集委員の選定に関する意見交換
・編集方針と編集作業部会の運用に関する意見交換
- 6月 ・編集方針と編集作業部会の運用に関する意見交換
・編集委員11人選出
- 7月 ・編集委員招聘
・2018年版の改定案(たたき案)作成
・編集作業部会開催/議事要旨作成
・削除コンテンツ・追加コンテンツ選定
- 8月 ・編集に関する意見交換
・骨子案作成/骨子案に関する意見聴取
- 9月 ・骨子案修正/再意見調整/原稿案作成
- 10月 ・編集作業部会開催/議事要旨作成
・骨子案修正/意見聴取
- 11月 ・編集業者選定
・原稿修正/原稿再確認

イ 資材の印刷製本及び関係機関への発送

アの検討内容に基づき資材案を作成し、県の了解を得た後に印刷製本した。印刷製本後は、関係機関へ所定の部数を発送した。

○作成及び発送に関する主な取り組み

- 7月 ・テキスト原稿校閲依頼・執筆依頼
- 8月 ・テキスト原稿校閲・執筆
・戻り原稿校閲
- 9月 ・テキスト原稿進捗確認
・戻り原稿校閲
- 10月 ・原案確定
・戻り原稿校閲
- 11月 ・テキスト原稿全員確認
・戻り原稿校閲
・印刷製本に関する仕様確認

- 12月
 - ・最終案確定
 - ・テキスト原稿入稿
 - ・戻り原稿校閲
 - ・印刷業者確定
- 1月
 - ・初稿出し → 初稿戻し
- 2月
 - ・2稿出し → 2稿戻し
 - ・3稿出し → 3稿戻し
 - ・念校 → デザイン入稿 → 色稿
 - ・配布先確認 → 送付データ作成
 - ・校了
- 3月
 - ・印刷製本
 - ・納品 → 発送
 - ・ウェブ上にデータ版掲載

ウ がん情報提供資材の活用状況の把握

がん情報提供資材の活用状況について、把握するための方策を検討する。

各立場の方より意見を聴取し、活用データ抽出方法を検討した。

しかしながら、告知された患者から意見を求めることは酷で難しいという意見もあり、活用方法をどのように評価するかは方法のさらなる検討が必要と思われた。

エ がん医療情報の正しい見方

科学的根拠に基づく情報と、そうでない情報を県民が見分けることのできる方策を検討

〈現段階では、正しい情報発信をしていくこと〉

・がんサポートハンドブックの巻頭に正しい情報を得ることが大事ということと「合わせて活用お勧めの本」と「信頼できるインターネット情報」

・講演会などで説明

(3) 資材普及の広報

ハンドブック普及のための広報として当センター主催による各種講演会や研修会での配布、講演市町村長及び担当者との意見交換において説明し活用を依頼。また、ラジオやポスターによる広報を行った。また、今年度はじめて開催される地域貢献イベント「琉球大学未来共創フェア2019」へ出典した。

〈ラジオCM放送概要〉

件名 : ラジオ20秒スポットCM
 合計本数 : 30本 (朝1本/昼1本/夕方1本)
 放送局 : FM沖縄、ラジオ沖縄
 放送期間 : 3/11～3/15 (5日間)

ラジオカー中継

FM沖縄 : Fine! 「モーニング・ウォッチ」 10:10～10:15
 ラジオ沖縄 : 「BALLON (バルーン)」 10:00～10:05

〈ポスター制作概要〉

件名 : がんサポートハンドブック2019年版ポスター
 規格 : A2
 色・用紙 : 片面フルカラー マット紙
 印刷部数 : 200部
 納期 : 平成31年3月14日 (木)

〈地域貢献イベントへの出典〉

件名 : 琉球大学未来共創フェア2019
 日時 : 平成31年3月23日 (土) 10:00～16:00
 内容 : 展示・スライド上映・説明会

(1) がん情報提供体制の強化における効果を以下に記す。

①がん情報に関する研修会 開催

<がん情報及び地域がん医療説明会>

開催地域において、もしもがんになったらと題して、離島・へき地でがん情報のさがし方勉強会としてがんに対する基本的な情報や正しいがん情報の調べ方や拠点病院と診療所の上手なかかり方等を周知した。その際、地域の診療所の医師にも参加講演して頂いたことで、診療所の役割も理解できたという声もあり、今後は身近で生活状況も把握しやすい診療所との連携による治療を進めることで、渡航の身体的・金銭的負担を減らし、患者家族及び市町村の負担軽減に繋がることを期待できる。

診療所の先生はそこで出来るがん医療についての講話を主に行ったが、沖縄県のがんの現状、がんの原因、発見方法などを解説し、①がんにかかるリスクは誰にでもあること ②原因の一つとして生活習慣があること など、がん医療に皆が関心をもってもらえるようにした。また、がんに対しての様々な不安要素を挙げ、島(へき地)の診療所ではどのような不安を解消できるのか解説した。「早期発見のために検診を受けること」「診療所で相談・検査・他と連携したサービスが提供できること」について参加者に伝えることが出来、普段から診療所で見てもらうことで、ちょっとした変化にも気づきやすく、早期発見や他の持病との関係にも役割を果たしていることを理解してもらえた。ご自身の看取り医療体験について講話された診療所長もいらしたが、離島・へき地では、住み慣れた家で家族と共に最期を迎えたいという希望も多く、熱心に聞き入っている姿もみられた。今後の治療選択としての看取り医療情報の必要性も感じられた。

がんセンター長による講話では、『がん情報さがしの10ヶ条』を主に、情報ツールの紹介と自分に必要な情報の判別の二つに分けて説明した。情報ツールの紹介では、推奨できる書籍や「おきなわがんサポートハンドブック」「療養場所ガイド」のダウンロード方法も紹介し、具体的な情報を届けることに至った。さらに、得られた情報を「本当に正しいか、自分に必要か」という自分視点と「主治医や家族に相談したり、セカンドオピニオンも活用する」といった他者視点の両方が大切であると伝えた。そして、がん医療に限らず、自分自身がどのような医療を望みどうしたいかを普段から考え、家族に相談すること、文書に残すことが重要だということも伝えた。

研修会の開催にあたり、ほとんどの地域において市町村役場長や担当部署と面会し、現状を伺い意見交換を実施。開催協力を得ることで、がん医療に対する役場の関心や広報活動にもつながった。

<がん個別相談会>

説明会後、個別相談会も開催した。多くは個室を準備出来、個室がない場所では、周りの方より見えないように仕切って対応した。個別相談は当日受付で対応したが、個室で相談される方もいたが、講演会后その場で個人個人でご相談される方も多かった。

②医療機関などへの説明会 開催

がんサポートハンドブックは告知後の患者さんの情報提供になることをまとめたもので、治療開始前に知っているのと納得して治療を受け、治療の満足度に結びつくものである。それで、医療機関での配布方法の重要性を関係者に対して説明を行った。

職員が集まる研修会などで、説明時間をお願いしているが、現時点での開催は1病院のみであり、他の企画とタイアップしての提案もないとなかなか進まない現状がある。

(2) がん情報提供資材(がんサポートハンドブック2019年版)の作成等の効果を以下に記す。

2018年度版で各分野からの協力者を募り編集委員の幅を広げたことで、完成度は高くなっており、2019年版は、さらに読みやすさにこだわって編集をすすめた。

巻頭の綴じ込み版については、告知後しっかり読めない場合も最小限の内容案内が巻頭にあってよいという意見が多かったので、概要版であった2018年度より、一体型ということへ変更して、折り込みに気づきやすいように内巻から外巻へ変更した。また、正しい情報提供ということで、巻頭に詳細本とインターネット情報の案内を記載した。

治療を療養の過程(ライフコース)では、図表の表現に委員の意見が集中し、がん治療における自分の立ち位置を把握しやすいように工夫した。最新治療で関心の高い、「免疫療法」「がんゲノム医療」も項目をして説明を加え、自分らしい将来の過ごし方を考える「アドバンス・ケア・プランニング」も新規項目として追加した。

情報の更新として、「妊娠の可能性を残す(生殖機能の温存)」では、卵巣凍結保存が可能となったことや、妊娠の可能性も個人差があることから対象年齢をはずした。また、社会保険労務士により生活面で気になる治療費や制度についての情報を再度見直し、就労相談先の追加情報等もあり、長く治療と向き合うために仕事を続けることも大切な要因とした。

がん診療を行っている沖縄県内の医療機関の記載は、沖縄県医療施設一覧(H30..9)より12のがん種と放射線治療施設一覧で表としてまとめ、患者の病院選択の目安となるように見直した。

関係機関への発送は、印刷業者より行った。医療機関への配布数については事前に配布状況を伺い参考とした。配送先については県と調整の上、住所データを作成し、印刷業者に提供した。納品当日は配布総数が1,000以上の施設は直納し、その他の施設については3/29までにすべての発送が終了した。

データ版については3/26にうちなーがんネットがんに掲載した。また、県へのデータ納品は、該当データを格納したCD-ROMを3/27に発送した。

(3) 資材普及広報の効果を以下に記す。

<ラジオCMについて>

平成31年度3月に5日間ラジオ局2社においてラジオCMを放送した。今年度は以前に作成したCMナレーションの音源を使用したため、制作費がかかっていない。今後資材のアピールポイントの強調のために次年度は新たなCM制作を検討したい。また、放送時期の3月は在庫も少ない状況である。発行前広報ではなく、発行後の5月頃からの早めの放送が望まれる。

<ポスター制作について>

資材の配布促進と認知向上を目的に、掲示ポスターを制作した。がん情報提供資材の配布施設に発送し、刊行案内の文書とともに郵送した。今年度は前年度の配布状況に応じて配布数を調整したので、不足時の受け取り方も追記した。

<地域貢献イベント参加について>

こちらのイベントは琉球大学主催で、教育・研究・医療・診療などの成果を広く地域社会に開し、地域社会とのコミュニケーションの場となることを目的としている。

ブース形式で「琉大病院がんセンターがすすめる離島・へき地におけるがん医療」と題して出典を行った。来訪者にもしもの場合に備えて関心を持ってもらい、離島・へき地医療についての取り組みを周知した。

- ※
1. 本表は事業ごとに作成すること。
 2. 事業区分欄については、次の事業に該当する番号を記入すること。
 - ①がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修事業
 - ②医療提供体制等の強化に資する事業
 - ③がん検診実施体制の強化に資する事業
 - ④効果的ながん情報の提供に資する事業
 - ⑤がんに関する総合的な相談体制の整備に資する事業
 - ⑥がん登録の推進に資する事業
 - ⑦がん検診の受診促進や受診率向上等に資する事業
 - ⑧糖尿病の重症化・合併症の発症予防のための地域における診療連携体制の推進に資する事業
 3. 事業内容及び事業実施における効果については具体的に記載すること。

沖縄県がん診療連携協議会について



がん相談支援センター
「がん」についての不安や悩み・心配ことは「がん相談支援センター」へ

セカンドオピニオンについて
拠点病院はもちろん、多くの病院でセカンドオピニオン外来を開設しています。

おきなわがんサポートハンドブック
「がん」と診断されても臆めない患者さんに寄り添い、支えることを目指してまとめた冊子をご紹介します。

がん患者さんのための療養場所ガイド
がんと告げられたときに「どこで診てもらえるのか」「どこが専門の施設か知りたい」に応える一冊です。

がんピアサポート



がん体験者による、がん患者さんやそのご家族のためのピアサポート

患者サロン



がんについての悩みや情報交換などを行う会です。

がん患者会



県のがん患者が抱える様々な課題解決に取り組むために設立された連合会です。

沖縄県のがん統計情報



県内がん登録データから見る沖縄県のがん統計情報

イベント情報



一般市民対象のがん対策に関する対話集会を開催しています。



タウンミーティング



がんの在宅療養



沖縄県在宅緩和ケアマップ



医療関係者の方へ

お知らせ

一覧 >

2019.02.26 **イベント情報**
平成31年3月17日(日)「がんサロンネットワーク会」の開催

2019.01.30 **イベント情報**
平成31年2月16日(土)市民公開講座「よくわかるがんの放射線治療」の開催

2019.01.29 **お知らせ**
テンプレートサンプル

2019.01.16 **お知らせ**
平成31年1月21日平成30年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会の資料掲載について

2019.01.11 **お知らせ**
平成31年1月24日(木)「早期診断のための研修会」の開催

部会について


医療部会
e-link


離島・へき地部会
e-link


小児・AYA部会
e-link


緩和ケア・在宅医療部会
e-link


情報提供・相談支援部会
e-link


ベンチマーク部会
e-link

沖縄県がん診療連携協議会運営サイト 全てのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標です。



リンク集

プライバシーポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

サイト内検索

医療関係者の方へ

患者さん・ご家族・県民の方へ

緩和ケア研究会

沖縄県がん診療連携協議会

部会について

患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」

[ホーム](#) > [患者さん・ご家族・県民の方へ](#) > 患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」

患者必携とは？

がんと診断されて間もない患者さんの思いに寄り添い、支える事の助けとなることを目指して、「信頼できる情報で、わかりやすく、役にたつもの」をまとめたものです。

1. 自分らしい病気との向き合い方を教えていくために読む「がんになったら手にとるガイド」
2. 治療や療養生活について、聞いたり調べたりして理解したことを書き留めて整理する「わたしの療養手帳」
3. お住まいの地域の相談窓口などの情報をまとめた「地域の療養情報」

患者必携の主な対象は、がんと診断が伝えられた直後（比較的最近）の患者さんです。

患者必携3点セット

各冊子の概要については[こちら](#)

1. がんになったら手にとるガイド



(普及新版)

「がんになったら手にとるガイド」PDFはこちらからご確認いただけます。
(PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください)

詳しくはこちら→ [国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ](#)

2. わたしの療養手帳



(普及新版)

「わたしの療養手帳」PDFはこちらからご確認いただけます。
(PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください)

詳しくはこちら→ [国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ](#)

3. 地域の療養情報 「おきなわがんサポートハンドブック」

PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください

[患者さん・ご家族・県民の方へ](#)

[イベント情報](#) >

[がん相談窓口](#) >

[セカンドオピニオンについて](#) >

[タウンミーティング](#) >

[がん治療について](#) >

[患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2019年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2018年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2017年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2016年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2015年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2014年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2013年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2012年版\)](#) >

[おきなわがんサポートハンドブック\(2011年版\)](#) >

[がん患者会](#) >

[患者サロン](#) >

[医療機関の情報について](#) >

[がん情報ブースのご紹介](#) >

[沖縄県地域統括相談支援センター](#) >



沖縄県がん診療連携拠点病院

おきなわがんサポートハンドブック(2019年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2018年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2017年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2016年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2015年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2014年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2013年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2012年版)

おきなわがんサポートハンドブック(2011年版)



[医療関係者の方へ](#) | [患者さん・ご家族・県民の方へ](#) | [緩和ケア研修会](#) | [沖縄県がん診療連携協議会](#) | [部会について](#)



沖縄県がん診療連携協議会

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

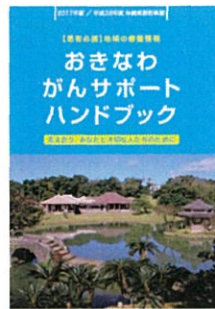
Copyright © 沖縄県がん診療連携協議会 All Rights Reserved.



2019年版



2018年版



2017年版



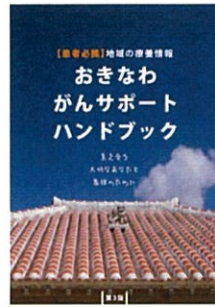
2016年版



2015年版



2014年版



2013年版



2012年版



2011年版

地域の療養情報 沖縄県(試作版)



PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください

患者必携の役割

1. がんの治療経過がわかる
2. 大まかに自分のがんの状況と今後の見通しの参考になる
3. 医療者、介護や支援などの初期の理解の手助けになる
4. 療養や今後の生活に関して調べる、知るべきことを認識する助けになる
5. 患者・家族と医療者、支援者が共に同じ冊子体を使って情報共有、情報交換することによって、患者さんにとって役立つ情報が蓄積され、行動に結びつけられる。



沖縄県セカンドオピニオン
実施医療機関リスト



がん医療に関する一般民向け
講演会の開催をお考えの方へ



がん医療に関する医療者向け
講演会の開催をお考えの方へ



沖縄県在宅緩和ケアマップ



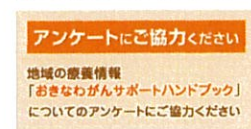
がん情報ブース



リンク集



タウンミーティング



アンケートにご協力ください
地域の療養情報
「おきなわがんサポートハンドブック」
についてのアンケートにご協力ください



沖縄県がん患者会連合会
「ゆいほーる」の心でサポートする沖縄県がん療養サイト
おきなわ がん情報ネット
みるん・しるん

沖縄県がん診療連携協議会運営サイト 全てのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標です。



リンク集

プライバシーポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

サイト内検索

医療関係者の方へ

患者さん・ご家族・県民の方へ

緩和ケア研修会

沖縄県がん診療連携協議会

部会について

おきなわがんサポートハンドブック(2019年版)

ホーム > 患者さん・ご家族・県民の方へ > 患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」 > おきなわがんサポートハンドブック(2019年版)

地域の療養情報 「おきなわがんサポートハンドブック」 (2019年版) 2019年発行

PDFはこちらからご確認いただけます。

(一括してPDFをご覧になりたい方は下記画像をクリックしてください)



患者さん・ご家族・県民の方へ

イベント情報 >

がん相談窓口 >

セカンドオピニオンについて >

タウンミーティング >

がん治療について >

患者必携・地域の療養情報
「おきなわがんサポートハンドブック」 >

おきなわがんサポートハンドブック(2019年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2018年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2017年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2016年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2015年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2014年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2013年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2012年版) >

おきなわがんサポートハンドブック(2011年版) >

がん患者会 >

患者サロン >

医療機関の情報について >

がん情報ブースのご紹介 >

沖縄県地域統括相談支援センター >



概要版

巻頭綴り込み がんと告げられたあなたへ (PDF 全6画)

信頼できるインターネット情報

診断から治療までのながれ

がんと言われたとき、すぐに役立つヒント&リスト

<本編>

表紙 (PDF)

がんや療養生活について詳しく知るには・本扉 (PDF P0-P1)

もくじ (PDF P2-P6)

第1部 納得して治療を受ける (第1部 扉 PDF P7) (PDF P8-P9)

1. がんについて相談する (第1部 第1章 PDF P10-P13)

(1) がん相談支援センター

(2) 沖縄県医療安全相談センター

【私を支えてくれたもの】

2. 治療について知る (第1部 第2章 PDF P14-P19)

(1) がん治療と療養の過程 (ライフコース)

(2) 標準治療と科学的根拠 (エビデンス)

(3) 免疫療法

(4) ゲノム医療

- (5) 臨床試験
- (6) 補完代替療法
- (7) 妊娠の可能性を残す(生殖機能の温存)

3. 情報を集める (第1部 第3章 PDF [P20-P25](#))

- (1) 病名、性質、病期
- (2) 主治医の説明を聞く
- (3) セカンドオピニオン
- (4) セカンドオピニオン実施施設
- (5) 書籍とインターネットで情報をさがす

4. 県内の医療体制 (第1部 第4章 PDF [P26-P32](#))

- (1) がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院
- (2) がん診療を行っている専門医療機関
- (3) 希少がんと小児がんの診療病院
- (4) がん診療を行っている沖縄県内の医療機関
- (5) 離島とがん ~通院治療の選択~
【療養手帳(日記)をつけました】

第2部 よりよい療養生活をおくるために (第2部 扉 PDF [P33](#)) (PDF [P34-P35](#))

1. 痛みやつらさを和らげる (第2部 第1章 PDF [P36-P37](#))

- (1) 緩和ケア
- (2) アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

2. 同じ病気の人の話を聞いてみる (第2部 第2章 PDF [P38-P47](#))

- (1) がんピアサポーター (がん経験者による相談)
- (2) 患者会
- (3) 患者支援団体
- (4) 患者サロン
【闘病仲間】

3. 自分らしく毎日を過ごす (第2部 第3章 PDF [P48-P51](#))

- (1) 外見ケア
- (2) さまざまな身体的症状への対応
- (3) がんとセクシャリティ
【がん治療と向き合う】

4. 子どもの療養を支える (第2部 第4章 PDF [P52-P55](#))

- (1) 入院中の教育支援、復帰支援
- (2) 訪問看護
- (3) 入院中のきょうだい支援
- (4) 退院後およびAYA世代に関する相談
- (5) 養育支援訪問事業
- (6) 一時預かり事業、病児・病後児保育事業

5. 自宅で療養生活を続けたい (第2部 第5章 PDF [P56-P61](#))

- (1) 在宅療養
- (2) 訪問診療
- (3) 訪問看護
- (4) 介護保険
- (5) 福祉用具・介護用品の貸与
- (6) 介護タクシー
- (7) 高齢者の相談窓口(地域包括支援センター)
- (8) ファミリーサポートセンター事業

6. 最期まで自分らしく生きる (第2部 第5章 PDF [P62-P64](#))

- (1) 終末期における緩和ケア(ターミナルケア)
- (2) グリーフケア

第3部 お金のことについて (第3部 扉 PDF [P65](#)) (PDF [P66-P67](#))

1. 医療費の負担を減らしたい (第3部 第1章 PDF [P68-P76](#))

- (1) 高額療養費制度
- (2) 高額療養費限度額適用認定証
- (3) 標準負担額減額認定証
- (4) 高額療養費貸付制度
- (5) 高額医療・高額介護合算制度
- (6) 確定申告による医療費等の控除
- (7) その他の制度

2. 治療を受けながら働く (第3部 第2章 PDF [P77-P81](#))

- 【自分の病気を子どもに伝える】
- (1) 労働問題全般についての相談



沖縄県セカンドオピニオン
実施医療機関リスト



がん医療に関する一般市民向け
講演会の開催をお考えの方へ



がん医療に関する医療者向け
講演会の開催をお考えの方へ



沖縄県在宅緩和ケアマップ



がん情報ブース



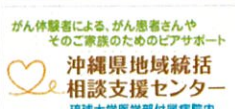
リンク集



タウンミーティング

アンケートにご協力ください

地域の健康情報
「おきなわがんサポートハンドブック」
についてのアンケートにご協力ください



がん体験者による、がん患者さんや
そのご家族のためのピアサポート
沖縄県地域統括
相談支援センター
琉球大学医学部付属病院内



沖縄県がん患者会連合会



「ゆいほーる」の心でサポートする沖縄がん情報サイト
おきなわがん情報ネット
みるん・しるん

- (2) 治療と仕事の両立支援
 - (3) 生活から就職までの総合相談
 - (4) 医療機関での就労相談
 - (5) 女性の就業相談、仕事と子育ての両立などの相談
 - (6) 働くがん患者の支援団体、冊子
3. 仕事を辞めて治療に専念する (第3部 第3章 PDF [P82-P83](#))
- (1) 退職に伴う健康保険の変更
 - (2) 失業手当 (基本手当) の受給期間の延長
4. 家庭の状況に合う支援を受ける (第3部 第4章 PDF [P84-P86](#))
- (1) 傷病手当金
 - (2) ひとり親家庭等医療費助成制度
 - (3) 一部負担金の減免制度
 - (4) 生活保護
 - (5) 生活福祉資金貸付制度
5. 離島に住む人向けの制度を知る (第3部 第5章 PDF [P87](#))
- (1) がん治療の渡航費助成
 - (2) 離島・へき地のがん患者等の宿泊支援
6. 障害についての支援を受ける (第3部 第6章 PDF [P88-P89](#))
- (1) 障害年金
 - (2) 障害手当金 (厚生年金)
 - (3) 身体障害者手帳
7. 子ども向けの制度を知る (第3部 第7章 PDF [P90-92](#))
- (1) 小児慢性特定疾病医療費助成制度
 - (2) 特別児童扶養手当
 - (3) 障害児福祉手当
 - (4) その他の制度

問い合わせ一覧 (扉 PDF [P93](#)) (PDF [P94-P99](#))

■医療機関一覧

■役所・役場一覧

■年金事務所一覧/各医療保険窓口 ■税務署一覧/福祉事務所一覧

ノート欄

●面談にのぞむときの質問集 (PDF [P100-P101](#))

●私のメモ (担当医からの説明の記録) (PDF [102](#))

あとがき 編集委員 編集協力 (PDF [P103](#))

奥付 がんの冊子 (PDF [P104](#))



[医療関係者の方へ](#) | [患者さん・ご家族・県民の方へ](#) | [緩和ケア研修会](#) | [沖縄県がん診療連携協議会](#) | [部会について](#)



沖縄県がん診療連携協議会

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

Copyright © 沖縄県がん診療連携協議会 All Rights Reserved.